

日中安全新聞

令和元年度 第1号
令和元年 6月 吉日
発行: 日進市立日進中学校
編集: PTA安全委員会

＜子どもの安全(防犯)対策＞

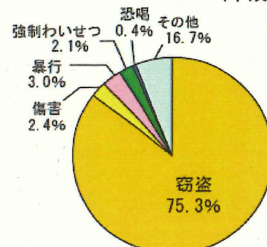
子どもを狙った犯罪が多発しています。子どもの被害件数を主な罰種別に見ると、窃盗が75.3%で最も多く、暴行3.0%、傷害2.4%、強制わいせつ2.1%、恐喝0.4%となっています。

また、子どもが被害者となる割合の高い罪種について見ると、略取誘拐・人身売買(76.6%。12歳以下に限れば30.1%)、強制わいせつ(48%)、自転車盗(施錠なし、44.7%)、公然わいせつ(41.7%)、強制的性交等(39.9%)、遺棄(37%)、自転車盗(施錠あり、31%)でした。

犯罪に遭わないために、どのような犯罪が多いのかを知り、おともも注意することが必要です。

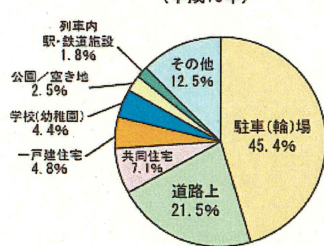
- ❑ 発生時間: 午後2時から午後6時頃に多発しています。下校時から夕食時までの間です。最近は朝の登校時の被害も増加してきています。
- ❑ 季節は7月～10月が多いです。
- ❑ 発生場所: 駐車場や駐輪場で5割。次いで道路上と続いています。駐車(輪)場での主な被害は窃盗ですが、強盗や傷害、強制わいせつ、逮捕・監禁及び略取・誘拐は道路上で被害にあう割合が高くなっています。
- ❑ 一人で行動する時間帯が最も危険です。特に下校時は一人になる時間帯がどうしても発生するため、注意が必要です。
- ❑ 公園・木や建物で見通しの悪い公園、周囲に路上駐車のある公園、建物に落書きのある公園は避ける。車の中から様子をうかがっていたりするので注意します。
- ❑ エレベーター…エレベーターの中は密室となるため、注意が必要です。知らない人と一緒に乗らないことを習慣づけることが大切です。後ろから襲われないようにエレベーターの出入り口の操作ボタン前に壁を背にして乗り、いつでも非常ベルや各階のボタンを押せるようにします。カメラを設置するとともに、カメラを設置して録画監視していることをシールなどでエレベーターホールなどで周囲に知らせます。(抑止効果)

子どもの犯罪被害認知状況
(平成29年)



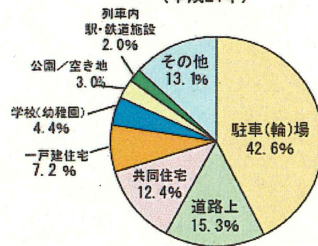
(出典: 警察庁統計資料)

子どもの場所別被害発生状況
(平成16年)

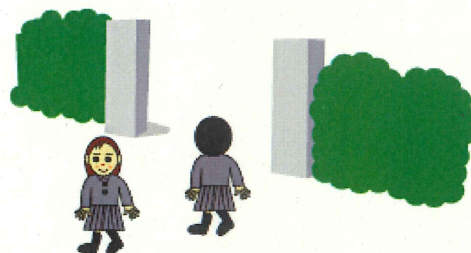


(出典: 警察庁統計資料)

子どもの場所別被害発生状況
(平成24年)



(出典: 警察庁統計資料)



簡単にできる子どもの安全・防犯活動

小さな見守り活動

子どもたちの登下校時に家の周りの掃除や草花の手入れをしながら「おはよう」「おかえり」と声をかけるのも、立派な見守りです。また、犬の散歩や買い物など普段の活動を意識して、登下校の時間帯に行くことで、子どもたちの安全確保に大きく役立ちます。

あいさつからの地域防犯

日常的に住民同士のあいさつ(声かけ)なども高い効果があります。犯罪者は、声をかけられたり、見られたりすることで犯行をあきらめるといったデータがあります。お出かけの際も、目配りやあいさつをすると、防犯に効果があります。

募集!!

日進中学校も見守り隊を結成し、ベストを着用しての活動が始まりました。みなさんの積極的な参加をお待ちしております♪

入隊希望の問い合わせ
日進中学校 教頭 蛭牟田
TEL 72-0020